

# 初任期の中学校保健体育教師が有する バスケットボール授業での安全意識に関する研究

－教職歴による比較を手掛かりに－

眞光 茉津里（広島大学）

## 1. 目的

本研究では、バスケットボール授業を行う上で、初任期と初任期以外の中学校保健体育教師が有する安全意識を調査し、初任期の教師が留意すべき安全配慮について明らかにすることを目的とした。

## 2. 研究方法

- 1) 対象者：中学校保健体育教師 36 名、(教職経験年数 5 年未満である初任期の教師 23 名、5 年以上である初任期以外の教師 13 名)
- 2) 調査期間：令和 5 年 11 月 7 日～11 月 22 日
- 3) 調査方法：Google Forms を用いてアンケート調査を実施した。アンケート項目は、(1) 運動様式に関する安全配慮、(2) 環境に関する安全配慮、(3) 生徒及び教師自身に内在する要因に関する安全配慮の 3 つを主として、鈴木 (2016) や真家 (2021) が使用したコードを援用し質問項目を作成した。アンケートの回答は、14 の質問項目に対し、5 件法での回答と、その回答理由を自由記述で求めた。
- 4) 分析方法：初任期と初任期以外の教師における 5 件法の平均値に対して対応の無い t 検定を行った。また、自由記述で得られた回答は、テキストマイニングの手法を援用して KH Coder を用いて分析を行った。

## 3. 結果と考察

### 1) t 検定による比較

初任期と初任期以外の教師における 5 件法の点数を比較した結果、初任期以外の教師は初任期の教師と比較して、事故防止のために安全教育と指導・活動計画の明確化（授業前段階）を重視していることが明らかになった。教職経験年数を重ね

ると授業の成立から授業の質に関する課題へと焦点が移動する（吉崎，1997）ことを踏まえると、初任期以外の教師は、教職経験年数を重ねる中で、授業内にとどまらない安全教育の在り方や授業設計に関する力量を培っている可能性が示唆された。

### 2) テキストマイニングでの比較

自由記述で得られた回答をテキストマイニングの手法を援用して分析した結果、初任期以外の教師にみられ、初任期の教師にみられなかった安全意識の特徴として、「周りを気にかける雰囲気を作る」と「学習規律を整える」が挙げられた。熟練教師は協働的な場面づくりと（梅村ら，2021）と授業前や活動前における学習規律の確立（Henkel, 1991）を行っている。これらのことを踏まえると、初任期以外の教師は、協働的な学習で自分以外の仲間の安全にも配慮させることや、授業が始まる前や活動前に運動を安全に行うための学習規律を整えることを意識していることが考えられる。

## 4. 結論

本研究で、初任期以外の教師は安全教育と指導活動計画の明確化（授業前段階）、周りを気にかける雰囲気を作ること、授業前や活動前に学習規律を整えることを、初任期の教師より意識していることが明らかになった。そのため、初任期の教師においてはこれらの点に留意して授業を実施することで、より安全に配慮したバスケットボール授業を行うことができるといえるだろう。また、教職経験の少なさから生じる事故を防止するために、教員養成段階での「学校安全」科目が今後さらに充実していくことが期待される。